

いちのみやの芸術文化

- いちのみやの戦国史跡〜信長編〜
- 役員紹介・加入団体一覧
- 加入団体の紹介
- これからの催し



浮野古戦場跡

2015.6

第33号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

いちのみやの戦国史跡〈信長編〉

聖徳寺会見

応仁・文明の乱（一四六七〜一四七七）以降、室町幕府足利將軍家の力は衰え、地方は群雄割拠の戦国時代に突入しました。そのような時代に、尾張から登場したのが織田信長です。

尾張国は室町幕府において三管領の一つでもあった斯波氏が代々守護を務め、その下に清洲織田家、岩倉織田家が守護代を務めていました。信長は、清洲織田家に仕える家老の家に生まれました。守護代の家老家ということ、尾張国内では信長の家の地位はそれほど高いものではありませんでした。しかし、信長の父・信秀は津島や熱田を支配下に置き、財力を背景に次第に勢力を拡大しました。信秀は尾張での安定を確保するため、天文十八年（一五四九）、敵対していた斎藤家と同盟し、油売りから戦国大名へ成り上がり「美濃の蝮」と呼ばれていた斎藤道三の娘・濃姫を、息子である信長の嫁にしまし

た。

信長が父から家督を継いだ頃は、織田家中の権力争いが激しい時期で、信長の地位は大変不安定なものでした。信長は道三との同盟を強固なものにするため、天文二十二年（一五五二）に



▲聖徳寺跡(富田字大堀)

富田の聖徳寺で会見しました。聖徳寺は真宗の大寺院で、織田、斎藤両家の支配下に属さない勢力でした。鉄砲や長槍で装備された信長の軍勢を見て、道三は信長の能力を評価し、家臣に「自分の子供たちはいずれ信長の家臣となる」と語ったそうです。

信長にとって、歴史の表舞台へ出るきっかけとなった聖徳寺。現在その場所は「聖徳寺跡」という名前で、iバス(市循環バス)の停留所にもなっています。その停留所を降りた所には「聖徳寺旧跡」と書かれた石碑が建てられており、市の指定史跡となっています。

浮野の戦い

弘治元年（一五五五）に清須城を攻略した信長は、知多を除く尾張の南部を支配下に置き、次第に勢力を拡大していきました。しかし、葉栗、中島、丹羽郡等、尾張北部は信長と敵対する岩倉織田家の勢力下にあり、岩倉織田家の主、織田信賢の勢力の拠点が岩倉城や市内の黒田城でした。永禄元年（一五五八）、信長は清須を出陣し、織田信賢も岩倉城を出て、両軍は千秋町の浮野で激突しました。犬山城主の織田信清が信長に味方したこともあり、信長軍が勝利しました。この時、岩倉勢の弓の名手である林弥七郎と、信長軍の鉄砲の名手である橋本一巴が一騎打ちをしたと、織田信長の一代記である『信長

『公記』に記されています。

現在、この浮野には合戦で討死にした者を弔った首塚跡に「浮野合戦場跡」と書かれた石碑が建てられています。また、この辺りに「鶯ヶ池」という池があったと言われ、浮野城があったかどうかは不明ですが、鶯ヶ池のそばに井戸を持つ城もあったとされています。そのため、この地は浮野首塚とも呼ばれます。



▲浮野古戦場跡(千秋町浮野字海道)

信長方の武将で、萩原町の高木出身の鵜飼民部は敵の首を十三とったとされ、その首を葬った場所とされる「十三塚」や、その内の一人の烏帽子を埋めたとされる「烏帽子塚」が高木には残っています。その後信長は、岩倉城を落とし、永禄三年(一五六〇)には桶狭間の戦いで今川義元を破り、さらに周辺の敵対勢力を撃破しました。浮野の戦いは、信長の尾張での覇権を確立させた重要な合戦でした。



▲十三塚(萩原町高木)

長谷川秀一

激戦を勝ち抜いてきた信長の軍団には、有能な武将たちが多くいました。羽柴秀吉、明智光秀等、数万規模の軍勢を率いる師団長級の武将の他、信長直属の武将や親衛隊である馬廻衆がいました。その馬廻衆をまとめる武将の一人が長谷川秀一でした。秀一は北方町の出身とされています。天正十年(一五八二)、本能寺の変が発生しました。信長を討った明智光秀は京都を制圧し、空白地帯の畿内制圧の準備に取り掛かりました。この時、秀一は堺見物をする徳川家康の接待のため、大坂の四條畷に滞在していました。京都方面は明智

軍に押さえられていたため、領地の三河に帰るには伊賀、伊勢を越えるルートしかありませんでした。道中、軍勢を率いていなかった家康の安全を確保したのが秀一でした。
秀一の旧居跡として、北方中学校の校門付近に石碑が建てられています。元々は北方町の北方東渡りにある下渡公民館にあり、現在は公民館に説明板のみが残っています。



▲長谷川秀一旧居跡(北方町北方字宮浦)

市内には、この他にも数多くの戦国史跡が残っています。中には時代の重要な分岐点になった史跡や謎に包まれた史跡もあり、実際に回りながら当時の様子を思い巡らしてみることが、面白いのではないのでしょうか。

一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史

一宮市芸術文化協会役員

※5・6ページに加入団体一覧表を記載します。

役員名		名譽会長	会長	副会長	会計	監事	
氏名	備考(部門/団体名)						
中野正康	一宮市長	中野正康	加藤昌義	不破皓	不破務	細井進	夫馬勲
			茶道部門/同派会	吹奏楽管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ	舞踊部門/新舞踊あすか会	吟剣詩舞部門/神道一刀流吟剣詩舞会	写真部門/一宮写真協会
				声楽・合唱部門/一宮音楽家協会			

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

文学部					部
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部門
					部長
青木小代子	後藤富士雄	山田忠雄	坂井 齊	伊藤芳昭	氏名
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名

文社化部会			芸能部		音楽部						美術部				部		
社会文化部門	華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	吹奏楽・管弦楽部門	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
																	部長
柳原 田主子	野々村 京子	岩田 宗晋	木全 修	越智 實	浅井 英仁	山中 貞雄	久野 以早夫	木野 敏夫	森 恒夫	水谷 富士雄	安藤 治仁	岩田 澗流	鵜飼 辰郎	三輪 清弘	丹羽 桃慶		氏名
一宮アーティフィシャルフラワー協会 鶴の会	一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	旭雅楽会 特定非営利活動法人	一宮音楽家協会	雅芳流嶋邦吟詠会	竹石会	一宮三曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 /デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 /洋画部	桃墨会		団体名

(敬称略)

加 入 団 体 一 覧

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
文学部	短 歌 部 門	真 清 短 歌 会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
	俳 句 部 門	一 宮 市 民 俳 句 教 室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		北 方 俳 句 会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
		葉 栗 俳 句 教 室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館
		本 町 俳 句 会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
		き き よ う の 会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 大志公民館
		千 秋 俳 句 ク ラ ブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館
		神 山 女 性 句 会	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 神山公民館
		尾 西 牡 丹 会	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		尾 西 句 会	毎月第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
	尾 西 仏 手 柑 句 会	毎月第2日曜日：午後3時～ 応蓮寺	
	尾 西 新 樹 会	毎月第1月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
	川 柳 部 門	一 宮 川 柳 社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
	狂 俳 部 門	一 宮 狂 俳 壇 連 盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館
詩 部 門	一 宮 現 代 詩 協 会	事務局へお問合せください。	
	一 宮 漢 詩 瀟 聲 會	毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館	
美術部	日 本 画 部 門	一宮美術作家協会/日本画部	事務局へお問合せください。
		桃 墨 会	毎月第1・3水曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター、第2・4土曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター
	洋 画 部 門	尾 西 作 家 協 会	事務局へお問合せください。
		一宮美術作家協会/洋画部	事務局へお問合せください。
		尾 西 絵 画 ク ラ ブ	毎月第1・第3土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
		彩 の 会 水 彩 画 教 室	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～、第2土曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
		グ ル ー プ 絵 ぞ ころ 三 美 会	毎週木曜日：午後1時～ 小信中島公民館
		楽 し く 描 こ う 会	毎月第2・4土曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		尾 西 彩 画 会	毎月第2・4火曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター西館
		ポ ビ ー の 会	毎週水曜日 講師宅
		尾 西 ガ リ バ ン パ ンの 会	毎月第2・4金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		パ レ ッ ト 会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		木 曾 川 絵 画 同 好 会	毎週水曜日：午後1時30分～ シルバー人材センター木曾川支部、毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館北館
		ブル シ ャ ン ブ ル ー	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
		イ エ ロ ー オ ー カ ー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		山 ぶ どう の 会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター
		土 筆 の 会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター
		あ ざ み の 会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター
		花 畑	毎月第2水曜日：午前9時30分～ 北方公民館
	ゆ ず の 会	毎月第1・3金曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
	デ ザ イン ・ 工 芸 彫 塑 部 門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。
		陶 順 会	毎週月・火・金・土曜日：午前9時～ 朝日老人福祉センター
		楽 陶 会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 講師宅
		美 省 会	毎月第4日曜日 講師宅
		尾 張 も め ん 伝 承 会	毎月第4日曜日：午後2時～ 産業体育館
		尾 西 面 打 会	毎月第1・3土曜日：午前9時～ 尾西グリーンプラザ
	書 部 門	一 面 会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ アイブラザー宮
		公 益 社 団 法 人 中 部 日 本 書 道 会 一 宮 支 部	事務局へお問合せください。
		麗 筆 会	事務局へお問合せください。
	写 真 部 門	日 中 古 墨 書 道 友 好 協 会 尾 張 支 部	毎月第2・4水曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		一 宮 写 真 協 会	事務局へお問合せください。
	音楽部	邦 楽 部 門	一 宮 三 曲 協 会
三 山 会			毎週土曜日：午後2時～ 講師宅
里 音 会			毎週土曜日：午後3時～ 金剛幼稚園
す み れ 箏 の 会			(随時) 講師宅
美 友 会			(随時) 講師宅
藤 乃 会			(随時) 講師宅
尾 西 三 味 線 薫 世 智 会			毎月第1・3木曜日：午前9時～、第2・4木曜日：午前11時～ 小信中島公民館
津 軽 三 味 線 恋 糸			(随時) 講師宅

※掲載されている情報は、平成27年5月現在の情報ですのでご了承ください。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所	
音楽部	謡曲部門	相生・中日文化会	毎月第2・4木曜日：午後6時～ 名鉄百貨店一宮店	
		竹石会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 真清田神社	
		誠諷・緑風会	毎月第1・3水曜日：午後1時30分～ 島村公民館、第2・4月曜日：午前9時30分～ 河端公民館、第2・4金曜日：午後1時～ ききょう会館	
		清宵・蘇水会	毎週月曜日：午後1時～ 宮西公民館	
		丹謡・萩謡会	毎週土曜日：午後6時30分～ 丹陽公民館	
	吟剣詩舞部門	紅韻会	毎週月・木・土曜日：午前10時～ 講師宅	
		一宮吟剣詩舞協会	事務局へお問合せください。	
		雅芳流嶋邦吟詠会	毎週金曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午前10時～ 尾西文化広場	
		神道一刀流剣詩舞会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 小信中島つどの里、毎月第2木曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター	
		柳翠剣詩舞道会	毎週水曜日：午後1時～ 小信中島つどの里、金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 他	
	声楽・合唱部門	山瑩会	週1回 山瑩会教室 他	
		一宮音楽家協会	事務局へお問合せください。	
		一宮合唱協会	事務局へお問合せください。	
		一宮第九をうたう会	毎週火曜日：午後7時～ カトリック一宮教会	
		女声合唱団蓮	毎週土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター西館	
		佳富士会	毎月第2・4日曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター	
	器楽部門	尾西民謡薫世智会	毎月第4木曜日：午後6時30分～ 小信中島公民館	
		琴伝流大正琴琴稀会	毎週金・土曜日：午後1時～ 尾西文化広場、毎月第1・2・4火曜日：午後1時～ 産業体育館	
		琴伝流大正琴琴女会	毎週火曜日：午前10時～ 三条・渡由宅、金曜日：午前10時～ 開明公民館	
		清の琴	毎週木曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター 他	
		安美&コンプリオ	(随時) 講師宅	
		木曾川ライトソングクラブ	毎月第1・3土曜日：午後7時～ 木曾川公民館	
		琴生流大正琴フレンズ	毎月第1・3火曜日：午前10時～ 春明公民館	
		特定非営利活動法人旭雅楽会	毎月1、15、28日及び第2・4日曜日：午後6時～ 尾張猿田彦神社	
	吹奏楽・管弦楽部門	一宮市民吹奏楽団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター	
		尾西ウィンドオーケストラ	毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館	
		一宮シティ合奏団	毎月第2土曜日：午後6時30分～ 中日新聞一宮支局、第4日曜日：午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
		きそがわポップスバンド	毎月第1土曜日：午後5時30分～ 木曾川体育館 第2～5日曜日：午後5時30分～ 木曾川公民館	
	芸能部	舞踊部門	一宮舞踊協会	事務局へお問合せください。
			ハワイアン・フラ	毎週火曜日：午前9時～、水曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター西館
			新舞踊あすか会	毎週水曜日：午後6時～ 起つどの里
			坂東流百喜久会	月2回 木曜日：午後1時～ 講師宅
			坂東流百の会	月2回 木曜日：午前9時～ 尾西文化広場
			扇寿々々会	毎週火曜日：午後1時～ 大志公民館
		芳美会	毎週月曜日：午前9時30分～ 向山公民館	
	芸能部門	一宮民俗芸能連盟	事務局へお問合せください。	
	社会文化部	茶道部門	同派会	事務局へお問合せください。
			弥生会	事務局へお問合せください。
			茶道表千家	事務局へお問合せください。
			茶道裏千家	事務局へお問合せください。
			表千家尾西玉香会	月3回 火曜日：午後2時～ 講師宅、金曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
			尾西表千家木野(文)会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅
			尾西緑寿会	月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅
			尾西清真会	毎週火曜日：午後1時30分～ 講師宅
			表千家尾西古田社中	毎週月曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午後2時～ 講師宅
裏千家尾西杉本社中			毎週月・水曜日：午後7時～、土曜日：午前9時30分～ 講師宅、日曜日：午後2時～ 火・金曜日：午後1時～ たんぽぽグランドハウス	
松風会			毎週水曜日：午後5時～ 講師宅	
華道部門		裏千家白河社中	毎週木・土・日曜日：午後2時～ 講師宅	
		裏千家住田社中	毎週月曜日：午後6時～、土曜日：午前10時～ 講師宅 他	
		一宮華道連盟	事務局へお問合せください。	
		池坊尾西玉香会	月3回 火曜日：午後2時～ 講師宅	
		尾西小原流算社中	月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅	
		尾西池坊木野(文)会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅	
社会文化部門		小原流尾西古田社中	毎週金曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午後2時～ 講師宅	
		尾西花紘会	毎月第4月曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター	
		一宮アーティフィシャルフラワー協会 鶴の会	毎週火曜日：午前10時～ 一宮スポーツ文化センター	
		一宮アーティフィシャルフラワー協会 風雅の会	毎月第2・4火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
		一宮アーティフィシャルフラワー協会 彩華の会	毎月第1・3火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
		歌楽会	毎月第3日曜日：午後7時～ 代表者宅	

※掲載されている情報は、平成27年5月現在の情報ですのでご了承ください。

いちのみや文芸 2015 作品募集

1、募集種目

- ① 随想・随筆 一人1編
(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)
- ② 現代詩 一人1編
(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

- ③ 漢詩 絶句、一人2首以内
- ④ 短歌 一人8首以内
- ⑤ 俳句 一人10句以内

(新かな使い、旧かな
使いを明記のこと)

- ⑥ 川柳 一人10句以内
- ⑦ 狂俳 一人10句以内

2、応募上の注意

- ① 応募は、一人3種目以内と
します。

- ② 用紙は、A4判の4000字
詰原稿用紙とし、種目ごと
に別紙を用いてください。

パソコンなどを使用する場
合は、A4判白無地の用紙
を横長に用い、20字×20行
で印字してください。

- ③ 原稿は縦書きとし、文字は

正確に読みやすく書いてく
ださい。

- ④ 原稿には、欄外に種目を記
入してください。その他に
氏名、号(必要に応じて)、

年齢、住所番地まで正確
に)、郵便番号、電話番号を
記入してください。なお、
氏名および号には振り仮名
をつけてください。

3、応募資格

- ⑤ 応募原稿は返却しません。

市内在住・在勤または一宮
市芸術文化協会加入団体に所
属している人

4、作品の採否

応募作品の採否については、
編集委員が選者となり、編集
委員会で決定します。

5、応募方法

〒491-8501(住所記載不要)一
宮市芸術文化協会事務局『い
ちのみや文芸』係(一宮市教育
委員会 生涯学習課内)まで
お送りください。

6、発刊予定

平成27年7月1日(水)必着。
平成27年10月17日(土)
1冊8000円(予定)

いちのみや民俗芸能のつどい

入場無料



8月23日(日) 正午～(予定)
一宮市民会館

一宮民俗芸能連盟の
加盟団体が市内各地
に伝わる民俗芸能を
上演します。

【出演予定団体】 石刀祭山車保存会、北方ばしょう踊保存会、
一宮真清伶人会、宮後住吉踊保存会、島文楽保存会、
機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子保存会、
瀬部山車・白台祭保存会のみなさん

一宮民俗芸能連盟(11団体)

- 石刀祭山車保存会 (今伊勢町馬寄)
- 一宮真清伶人会 (真清田神社)
- 宮後住吉踊保存会 (今伊勢町宮後)
- 機織唄保存会 (南小淵)
- 馬場獅子屋形打囃子保存会 (千秋町加納馬場)
- 黒岩山車保存会 (黒岩)
- ばしょう踊保存会 (北方町北方)
- 馬寄木遣音頭保存会 (今伊勢町馬寄)
- 島文楽保存会 (島村)
- 重吉甘酒祭保存会 (重吉)
- 瀬部山車・臼台祭保存会 (瀬部)

ここでいう民俗とは、血縁と地域の同一性を基礎にして成り立つ、広範な文化共同体を指し、特定の町内の中でのみ存在している芸能になります。各団体は百年、二百年以上の伝統を持っており、指定の有無に関わらず、この一宮市の風土に培われた立派な文化財です。そして今も継続されているところに意義があり、時代に合わせて進化することは許されません。

残念ながら今日のサラリーマン社会の息子を

遠方に住ませ、子供は金の卵になってしまいました。リーダーたる頑固親父が好々爺を演じ、練習時間を確保するために習い事に忙しい子供の機嫌をとり、子供会の協力を得て何とか凌いでいます。

この先も、ずっと失われることがないように奮闘、努力しています。先祖が楽しんだ手振りなら、我々にもその遺伝子があることを信じて。



◀ 石刀祭にて

【問合せ先】 木全 修 ☎73-5221

「ゆずの会」は、4年前に一宮スポーツ文化センターで開催された水彩画教室が出発点で、その受講生により会が発足しました。講座を担当されていた山崎澄先生に講師をお願いし、御指導をいただいています。会員は15名で、仕事を定年退職した人、子育てを終えた人、更なる向上を目指す人など様々です。現在は毎月第1・第3金曜日の午前、一宮スポーツ文化センターで活動しています。

日帰りのスケッチ旅行を年1回行い、春には教室を出て、野外でのスケッチ教室も開催しています。今年の4月には各務原市の河川環境楽園でスケッチを楽しみました。毎年秋には一宮市芸術祭に参加し、12月下旬には今伊勢町にある「和カフェ&ギャラリー香彩」で作品発表会を実施しています。

絵画は自分一人で作成します。自分だけの美を感じ、見分ける目を常に磨いていくことが上

達するためにはとても大切です。そのため、今年はいつもの教室以外に新しい取り組みとして、どこかの美術館に出かけ展覧会を觀賞するという計画もあり、皆今からとても楽しみにしています。

絵画は自己表現の一つであるとも言われています。自分で描いた作品を飾ってみてはいかがでしょうか。ぜひこの機会にご参加ください。



◀ スケッチ旅行にて

【問合せ先】 田宮 和宏 ☎76-0125

加入団体の紹介

里音会 (さとねかい)

(邦楽部門)

「里音会」は、箏・三絃・十七絃を練習し、演奏会が近くなると、尺八とも合奏しながら楽しく励んでいます。

箏・三絃・尺八の団体が所属する一宮三曲協会の発足以来、私達は協会に所属し、昭和20年から各行事に参加しています。

これまでに、一宮スポーツセンター・一宮市民会館・尾西市民会館・中日劇場・名古屋市民会館・愛知県芸術劇場などで演奏してきました。また平成2年頃からは、日本国際音楽協会の演奏旅行で、ヨーロッパの14ヶ国に出かけています。

一昨年前には、真清田神社で6月の「ホタルの夕べ」と9月の「観月祭」にて箏曲奉納をさせていただき、会員一同とても神聖な気持ちになったのを覚えています。

活動としては、尾西芸能祭やもみじ祭り、一宮三曲協会定期演奏会などに参加しています。どの演奏会も自分達が上達する為だけでなく、

演奏を聞いていただいている方達に親しんでいただける様に選曲しています。

「箏」と聞くと、少し戸惑ってしまう方もいるかもしれませんが、女性ばかりのわきあいあいとした雰囲気の中、楽しくお稽古をしています。これからも日本の伝統音楽を多くの方に聞いていただける様に頑張るとともに、永く後世に残していきたいと思います。



◀ 日本国際音楽協会参加

【問合せ先】 篠笛 里江 ☎61-3023

加入団体の紹介

一宮写真協会 (いちのみやしやしんきょうかい)

(写真部門)

「一宮写真協会」は、市内の写真愛好団体が会員相互の親睦・連携と写真技術の向上を目的として、昭和37年に発足しました。50年以上の歴史があり、現在は8クラブが加入しています。

今日、写真はフィルムからデジタルに変わってきましたが、協会ではフィルム・デジタルに関係なく作品の展示を中心に考え、活動しています。

協会としての最大の活動は、毎年7月に一宮スポーツ文化センターで開催しています「100人展」で、毎年テーマを決めて、各クラブの会員の皆さんが精魂込めて写した写真を展示しております。半切以上に大きくプリントした作品はどれも迫力があり、多くの方に見ていただくことが、翌年への励みとなります。今年も7月17日(金)から19日(日)まで開催しますので、ぜひご来場ください。

他にも、毎年6月には一宮スポーツ文化セン

ターにて開催される一宮市芸術文化協会主催の「一宮総合美術展」へ、各クラブから作品を持ち寄り展示をしています。また9月には、一宮市博物館で「一宮写真協会選抜写真展」を共催で開催しています。

一宮写真協会では、市内の写真クラブや写真に興味がある方をお待ちしています。年3回の写真展に協力していただき、活動の幅を広げてください。ぜひご加入ください。



◀ 一宮総合美術展にて

【問合せ先】 事務局 杉山 幸夫 ☎68-0867

文化情報



「ハンギング バスケット」 長谷川 厚一郎

《市および市内公共施設の催し予定》

一宮市博物館

☎(46)3215

夏季小展示「うつわのうしろかわり」

日時 ● 7月18日(土)～8月23日(日)

午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで、
月曜休館、月曜が休日の場
合は翌日休館、以下同じ)
内容 ● 縄文時代から、食・物を盛
ったり調理する道具として
使われている器が、どのよ
うに移り変わっていったの
かをご紹介します。

観覧料 ● 無料

企画展「2015 一宮美術作家協会展」

日時 ● 8月29日(土)～9月13日(日)

内容 ● 一宮美術作家協会会員によ
る最新の発想でイメージの
試作を展開した日本画、洋
画、彫刻・立体、デザイン、
工芸の力作を展示します。

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円
小中生 50円

※市内小中生・65歳以上無料

三岸節子記念美術館

☎(63)2892

常設展「三岸節子 鮮麗なる色彩」

日時 ● 7月14日(火)～9月27日(日)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで、
月曜休館、月曜が休日の場
合は翌日休館、9月24日(木)
休館、9月22日(火)は開館、
以下同じ)
内容 ● 光を感じる色に魅せられ描
いた室内画や静物画に、三
岸節子が生まれ持つ色彩感
覚をご覧いただきます。

観覧料 ● 一般 320円

高大生 210円
小中生 110円

※市内小中生・65歳以上無料

企画展「伊藤秀男展」

日時 ● 8月1日(土)～30日(日)

午前9時～午後5時
内容 ● 画家であり、絵本作家の伊
藤秀男が、東日本震災の
実話から生まれた絵本作品
の原画などを中心に、30年
に渡る画業を紹介します。

観覧料 ● 一般 500円

高大生 250円
※小中生・65歳以上無料

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

夏季企画展

「木曾川子どもユニバーシティ」

日時 ● 7月25日(土)～8月30日(日)

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで、
月曜休館)

内容 ● 木曾川をさまざまな分野か
ら調査研究している研究者
が集い、子どもたちへメッ
セージを展示します。

観覧料 ● 無料

子ども講座

「藍の生葉染めを体験！」

日時 ● 7月26日(日)

午前9時30分～正午
内容 ● 親子で藍の生葉を使った染
色を体験します。

対象 ● 小中学生とその保護者
※要参加費・要申込み(詳しくは
7月号広報を参照)

中央図書館

☎(72)2343

展示「原爆と人間展」

日時 ● 8月6日(木)～15日(土)

午前9時～午後9時
内容 ● 原爆に関するパネルを展示
します。

会場 ● 6階 多目的室?

観覧料 ● 無料

展示「郵便の父・前島密生誕180年記念」日本のポスト写真展

日時 9月3日(木)～16日(水)
午前9時～午後9時
(7日休館)

内容 各地の郷土色豊かなご当地郵便ポストの写真を展示します。

会場 6階 多目的室2

観覧料 無料

尾西図書館

〒(62)8191

「ストーリー・テリング講習会」

日時 9月3日～10月1日の毎週
木曜日(9月24日は除く)
午前10時30分～正午

内容 絵本などを使わずに聞き手に向かってお話を語る手法であるストーリー・テリングを学びます。

※要申込み(詳しくは8月号広報を参照)

市生涯学習課

〒(85)7075

「市民美術教室」

【水彩画】

日時 9月3日～10月29日の毎週
木曜日(10月22日は除く)

【版画とガラス絵】

日時 9月8日～10月27日の毎週
火曜日(9月22日は除く)と
11月4日(水)

【染色】

日時 9月30日～10月21日の毎週
水曜日

会場 一宮スポーツ文化センター

対象 市内在住・在勤・在学の方
※全コースとも、要受講料。また所定の締切日までに事前の申込が必要。なお日程は予定のため変更する場合あり。詳しくは8月号の広報を参照。

**一宮市
芸術文化協会
加入団体の
催し**

**一宮市芸術文化活動振興交付金事業
創立40周年記念**

**「一宮市民吹奏楽団レインボー
コンサート2015」**

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

〒(44)99907

日時 6月21日(日) 午後1時30分

～3時30分(開場は30分前)
会場 一宮市民会館

内容 楽団創立40周年の記念に「アメリカン・サリユート」や「ディスプレイ・ファンティリューション」など、馴染みやすい曲を演奏します。

入場料 500円 前売400円

「市民俳句教室」

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

〒(73)5504

日時 6月28日(日)・8月23日(日)
9月27日(日) 午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター
内容 当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

「市民川柳教室」

【問合せ先 一宮川柳社】

〒(45)6951

日時 6月28日(日)・7月26日(日)
8月23日(日)・9月27日(日)

午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター
内容 自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

「市民短歌教室」

【問合せ先 真清短歌会】

〒(72)7691

日時 7月12日(日)・8月9日(日)
9月13日(日) 午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

「100人展」

【問合せ先 一宮写真協会】

〒(76)3523

日時 7月17日(金)～19日(日)

午前10時～午後5時
(19日は午後4時30分まで)

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 100人の会員の作品を展示します。

入場料 無料

「尾西混声合唱団

「サマーコンサート」

【問合せ先 一宮合唱協会 尾西混声合唱団】

〒(62)8794

日時 7月26日(日) 午後1時30分

～(開場は30分前)

会場 尾西グリーンプラザ

多目的ホール
内容▼男声と女声の混声合唱に
よる美しいハーモニーを
披露します。

入場料▼500円

『黒岩山車保存会 川祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月1日(土) 午後7時〜

会場▼石刀神社(浅井町黒石)

内容▼わら舟を乗せた山車に提
灯を飾りつけ、お囃子と
ともに練り歩きます。

『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月2日(日) 午前9時〜

会場▼島村公民館(島村字石畑)

内容▼市の有形民俗文化財であ
る島村地区の文楽人形の
虫干しをします。

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(51)2286

日時▼8月8日(土) 午前9時30分〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選によ
り優秀作を記録に残しま

す。
(初心者歓迎)
参加料▼無料

『瀬部山車・白台祭保存会白台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月16日(日)

午後6時30分〜

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかがげ、
笛や太鼓のお囃子に合わ
せて境内をねり歩きます。

★
一宮七夕まつり
7月23日(木)〜26日(日)
一宮七夕まつり協賛事業

『狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(51)2286

日時▼7月11日(土)

午後1時〜5時

会場▼葉栗公民館

対象▼どなたでも
参加料▼無料

『第43回学生書道展・第22回書道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎(51)0646

日時▼7月11日(土)・12日(日)
午前10時〜午後4時
(11日は午後1時から)
会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼特別出品の部、及び一般
公募の部上位入賞作品の
展示と、役員と指導者の
楽しくユニークな小作品
を展示します。
入場料▼無料

『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎(72)2338

日時▼7月24日(金)〜26日(日)

正午〜午後5時

会場▼一宮スポーツ文化センター
呈茶券▼前売券 500円

当日券 550円

『舞楽奉納』

【問合せ先 一宮真清伶人会】

☎(73)8970

日時▼7月25日(土)

午後7時〜8時

会場▼服織神社(真清田神社境内)

観覧料▼無料

『短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(72)7691

日時▼7月26日(日)

午後1時〜4時
会場▼一宮スポーツ文化センター
対象▼どなたでも
参加料▼500円

『俳句大会』

【問合せ先 一宮俳句協会】

☎(73)5504

日時▼7月26日(日)

午前11時〜午後4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター
対象▼どなたでも
参加料▼800円

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(44)9987

日時▼7月26日(日)

午後4時30分〜5時30分

会場▼真清田神社特設舞台
観覧料▼無料

『手踊り』

【問合せ先 宮後住吉踊保存会】

☎(45)7300

日時▼7月26日(日)

午後6時30分〜7時

会場▼真清田神社特設舞台
観覧料▼無料



【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213

【題字】武山翠屋
【編集・発行】一宮市芸術文化協会